

思いは見えないけれど、思いやりは見える

～ 自分の思いを どのように形にしますか ～

校長 本間 智英

遅くなりましたが、新年あけましておめでとうございます。
本年も当校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和4年がスタートし、3学期も1週間が経ちました。
冬休み中、おうちの方と楽しい時間を過ごし、エネルギーを
たくさんためた子どもたちが元気に学校生活を送っています。
ありがとうございました。

写 真

1月11日(火)書初め大会
「初日記」を書く5年生

さて、上記のタイトルは、2011年3月11日東日本大震災後、コマーシャルで流れたフレーズなのでご存知の方が多いのではないのでしょうか。これは、詩人の宮澤章二さんの『行為の意味』という詩(右記)から引用されたものです。

現在、5年生が、お世話になった6年生に感謝の気持ちをこめ、「6年生を送る会」を計画しています。11月の学級活動で、この議題について話し合う様子を見ましたが、どのようにして感謝の気持ちを伝えるか、一人一人が一生懸命考えていました。まさに、思いを形にしようとする姿でした。

4月から相川小学校の最高学年になる5年生がますます頼もしく見えました。
「6年生を送る会」も楽しみにしています。

3学期始業式で、「自分がされてうれしいこと、喜ぶことを相手にしよう」

と、子どもたちに話をしました。「心遣い」「思いやり」は、当校の校訓「仁」そのものです。温かく、優しい気持ちに包まれた学校を目指し、今年も家庭・地域の皆様とともに「仁」を育てていきたいと考えています。よろしく願いいたします。

行為の意味

あなたの心はどんな形ですかと
人に聞かれても答えようがない
自分にも 他人にも心は見えない
けれど ほんとうに見えないのであろうか

確かに心はだれにも見えないけれど
心づかいは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為だから

同じように胸の中の思いは見えないけれど
思いやりは見えるのだ
それは 人に対する積極的な行為なのだから

あたたかい心が あたたかい行為になり
やさしい思いが やさしい行為になるとき
「心」も「思い」も、初めて美しく生きる
それは 人が人として生きることだ

引用：宮澤章二(2010)『行為の意味 青春前期のきみたちに』
(ごま書房新社)